

令和5年度 幼稚園関係者評価

今年度の園評価について、本園学校評議員の皆様より幅広い観点からご意見をいただきましたのでお知らせいたします。

- ・少人数の保育では、できる遊びと深まらない遊びがあるとのことだが、その中で職員は一人一人の個性を伸ばしながら関わっていたと思われる。運動会や発表会での楽しそうな姿に表れていた。
- ・全ての評価項目に対して、保護者、職員共に高い評価が出ている。園の教育目標に対して、保護者、職員共に理解し、担任の先生を中心にきめ細やかに実践し続けた成果となっていると思われる。
- ・NO. 7「主体的な遊びを通して学ぶ環境作り」については、職員の評価は立場の違いで結果が広がったと思われるが、研究部分についての先生方の評価は厳しくなりがちになるものと思う。保護者は100%支持をしており、大変良い評価になっている。
- ・NO. 7については、この大切さを保護者からの評価と共に、周知できるとよい。
- ・子ども達は、会った際には物おじせず声を掛けてくれたりする。「優しい子ども」に育っていると思う。
- ・保護者の子どもについての評価は、基準や解釈が大きく広がる場所なので、設問の文面を変えた方が良いのではないか。特にNO. 3「考える子ども」NO. 4「やさしい子ども」については、毎年ややB評価が多いが、子どもが育っているか否かが問題なのではなく、職員の先生が子の変化について保護者に今より頻繁に話をできれば保護者も子どもを評価しやすくなるのではないか。自分の子をほめたり認めたりするのが苦手な親の問題が表れていると思う。
- ・NO. 8「教育目標をわかりやすく伝えているか」、NO. 9「保育の様子や子どもの姿をわかりやすく伝えているか」のB評価については、対保護者ではなく、対地域住民・未就園家庭の部分で周知が不足していることを指していると思う。
- ・NO. 12「基本的な生活習慣、話を聞く、挨拶をする力の育成」については、これまで少しゆるいのではと思われることもあったが、今年度は担任の先生の方により、かなり身についたと感じる。
- ・幼稚園のホームページが以前よりも見やすくなった。入園を検討する保護者からは、お弁当、送迎、預かり保育について聞かれることがあるので、関心の高い給食についてもホームページに載せておくとういのではないか。
- ・園開放（くまちゃん広場）は、増やしてほしい要望もあるようなので、可能な範囲で増やせると、更に子育ての支援になるのではないか。
- ・園児数減少に伴い、職員の人数も減り、保育以外の業務負担が増えているようで心配である。
- ・教育ミニ集会では、保育の様子について写真などを通して知ることができた。先生方の意図や援助などについてもよく伝わり、とてもよかったと思う。参加できなかった保護

者もいたので、他にも同様の場があるとよい。

- ・保護者のA評価が100%となった項目の中でも、特にNO.10「一人一人の理解、個に応じた援助や指導」、NO.11「温かい態度で信頼関係を構築」の二つは、本当に良い評価になってよいと思う。幼稚園の良さをもっと地域に知ってほしいと強く思う。
- ・地域交流については、いろいろな方がいることが予想されるので、その点の心配もある。現在のような内容の継続でもよいのではないか。
- ・評価の内容は、自由記述を含めて能動的に開示してほしいと思う。園を選ぶ保護者、また、教育委員会学務課の方にもよく読んでいただきたいです。
- ・色々な意味で大変厳しい状況の中、担任の先生をはじめ、全ての職員の皆様の努力のおかげでよい教育がなされたと思います。大変お疲れさまでした。
- ・今までいろいろな課題がありましたが、保護者の皆様と連携をとり進めていってください。地域からも応援しています。
- ・これからも大変な事は多いかと思いますが、信頼できる素敵な幼稚園でいてください。

皆様からの貴重なご意見を、今後の幼稚園運営、保育実践に生かして参ります。

また、評価結果は、設置者である佐倉市教育委員会に報告するとともに、幼稚園ホームページにも掲載いたします。